

一般社団法人 あんしん母と子の産婦人科連絡協議会

医療法人きずな会 さめじまボンディングクリニック

看護師・公認心理師・SANE（性暴力被害者支援看護師）

看護部副師長・吉田知重子

子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について

厚生労働省 第17次報告より

(H31.4.1~R2.3.3 1)

2. 死亡事例（72例・78人）の分析

（1）心中以外の虐待死（56例・57人） 各項目において人数割合が多かったものを示す

死亡した子どもの年齢

「0歳」…28例・28人（49.1%）
（0歳のうち月齢0か月児が11例・11人）

「身体的虐待」…16例・17人（29.8%）

「ネグレクト」…13例・13人（22.8%）

（「不明」…26例・26人（45.6%））

「頭部外傷」…7例・7人（18.4%※）

「実母」…30例・30人（52.6%）

「実父」…3例・3人（5.3%）「実母」…27例・27人（47.3%）

「保護を怠ったことによる死亡」…9例・9人（16.1%）

「しつけのつもり」…3例・3人（5.3%）

「その他」…7例・7人（12.3%）

○ 妊娠期・周産期における問題（複数回答）

「予期しない妊娠/計画していない妊娠」…20例・20人（35.1%）

「妊婦健康診査未受診」…20例・20人（35.1%）

「遺棄」…18例・18人（31.6%）

○ 乳幼児健康診査の受診状況

「3～4か月児健康診査」の未受診者…6人（26.1%※）

「1歳6か月児健康診査」の未受診者…1人（6.7%※）

「3歳児健康診査」の未受診者…2人（22.2%※）

○ 養育能力の問題等

「養育能力の低さ」…13例・13人（23.2%）

「育児不安」…8例・8人（14.3%）

「うつ状態」…5例・5人（8.9%）

「精神疾患」…6例・6人（10.7%）

（養育能力の低さとは、子どもの成長発達を促すために必要な関わり（授乳や食事、
保清、情緒的な要求への応答、子どもの体調変化の把握、安全面への配慮等）が
適切にできない場合としている。）

児童相談所の関与がありが11例（19.6%）、市区町村（虐待対応担当部署）の関与がありが15例（26.8%）であった。

児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の両方の関与がありが8例（14.3%）であった。

何らかの機関（児童相談所、市区町村、保健センター等）の関与がありが39例（67.9%）であった。

0か月児事例2人については関係機関の関与無しが2人であった。

○ 要保護児童対策地域協議会

検討対象とされていた事例は11例（19.6%）であった。

0歳0日の虐待死が最も多い
第16次報告では22例 40.7%

主たる加害者は実母
第16次報告では24例25人 46.3%

死亡事例は増加
第16次報告では64例 73人

遺棄 18例 31.6%
予期せぬ妊娠 1/3人

第1次から第17次報告を踏まえて 子ども虐待による死亡事例等を防ぐためのリスクとして留意すべきポイント

養育者の側面

- 妊娠の届出がなされておらず、母子健康手帳が未発行である
- 妊婦健康診査が未受診である又は受診回数が極端に少ない
- 関係機関からの連絡を拒否している
(途中から関係が変化した場合も含む)
- 予期しない妊娠／計画していない妊娠
- 医師、助産師の立会いなく自宅等で出産
- 乳幼児健康診査や就学時の健康診断が未受診である又は
予防接種が未接種である
(途中から受診しなくなった場合も含む)
- 精神疾患や抑うつ状態(産後うつ、マタニティブルーズ等)
知的障害などにより自ら適切な支援を求められない
- 過去に自殺企図がある
- 養育者がDVの問題を抱えている
- 子どもの発達等に関する強い不安や悩みを抱えている
- 家庭として養育能力の不足等がある若年(10代)妊娠
- 子どもを保護してほしい等、養育者が自ら相談してくる
- 虐待が疑われるにもかかわらず養育者が虐待を否定
- 訪問等をして子どもに会わせない
- 多胎児を含む複数人の子どもがいる
- 安全でない環境に子どもだけを置いている
- きょうだいなどによる不適切な養育・監護を放置している

生活環境等の側面

- 児童委員、近隣住民等から様子が気にかかる旨の情報提供がある
- 生活上に何らかの困難を抱えている
- 転居を繰り返している
- 社会的な支援、親族等から孤立している(させられている)
- 家族関係や家族構造、家族の健康状態に変化があった

子どもの側面

- 子どもの身体、特に、顔や首、頭等に外傷が認められる
- 一定期間の体重増加不良や低栄養状態が認められる
- 子どもが学校・保育所等を不明確・不自然な理由で休む
- 施設等への入退所を繰り返している
- 一時保護等の措置を解除し家庭復帰後6か月以内の死亡事案が多い
- きょうだいに虐待があった
- 子どもが保護を求めている、または養育が適切に行われていないことを示す発言がある

援助過程の側面

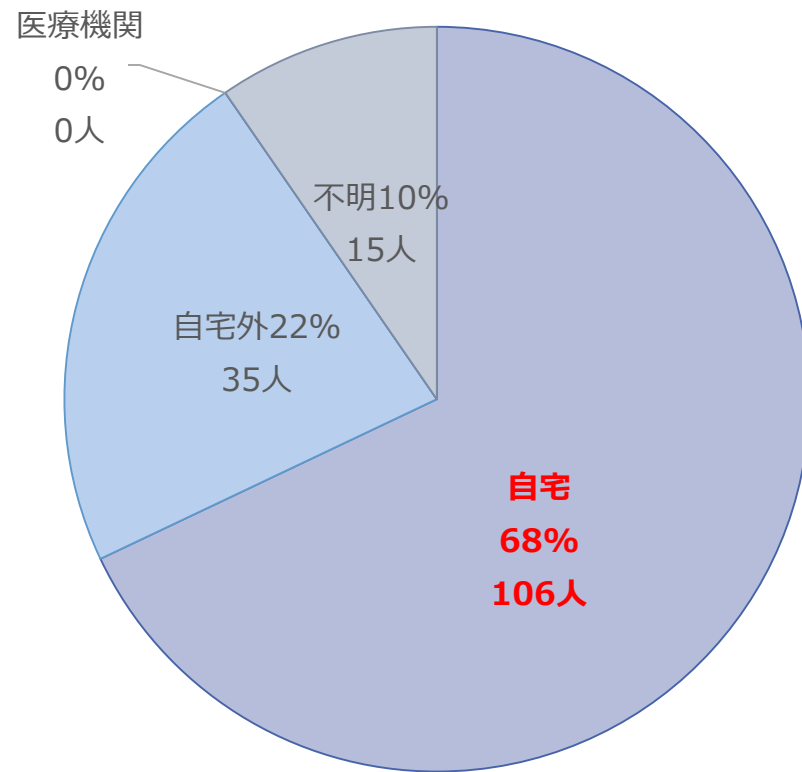
- 関係機関や関係部署が把握している情報を共有できず、得られた情報を統合し、虐待発生のリスクを認識及び同一の支援方針による対応ができていない
- 要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)における検討の対象事例になっていない
- 家族全体を捉えたリスクアセスメントが不足しており、危機感が希薄である
- スクリーニングの結果を必要な支援や迅速な対応に結びつけていない
- 転居時に十分な引継ぎが行えていない
- 転居や家族関係の変化の把握ができていない
- ネグレクトの継続が事態の悪化だと捉えられていない
- 子どもの発言等をアセスメントや支援方針に活かしていない
- 継続的に支援している事例について、定期的なアセスメントが適切に行われていない

※ 子どもが低年齢・未就園である場合や離婚・未婚等によりひとり親である場合に、上記ポイントに該当するときには、特に注意して対応する必要がある。

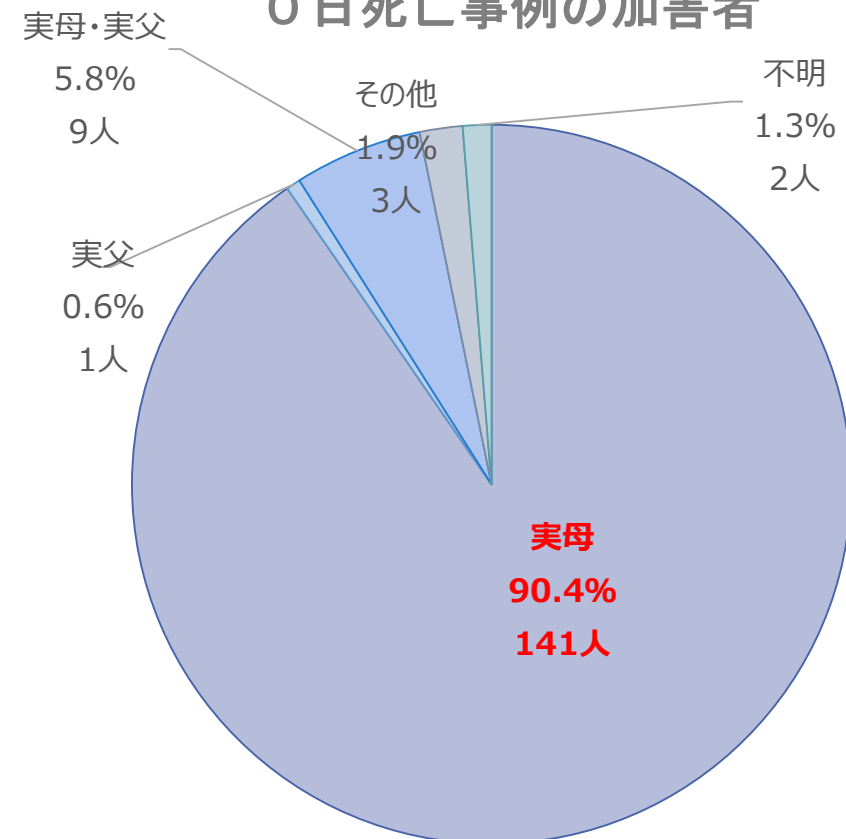
0歳死亡の背景と要因

厚生労働省「子ども虐待事例等の検証結果等について」1次～第16次報告 156例

0日死亡事例の出産場所



0日死亡事例の加害者



あんしん母と子の産婦人科連絡協議会

あんしん母と産婦人科連絡協議会

予期せぬ妊娠をされた女性を支援し、産まれてくる赤ちゃんが安全で健やかに幸福に育まれるよう行政と連携して活動しています



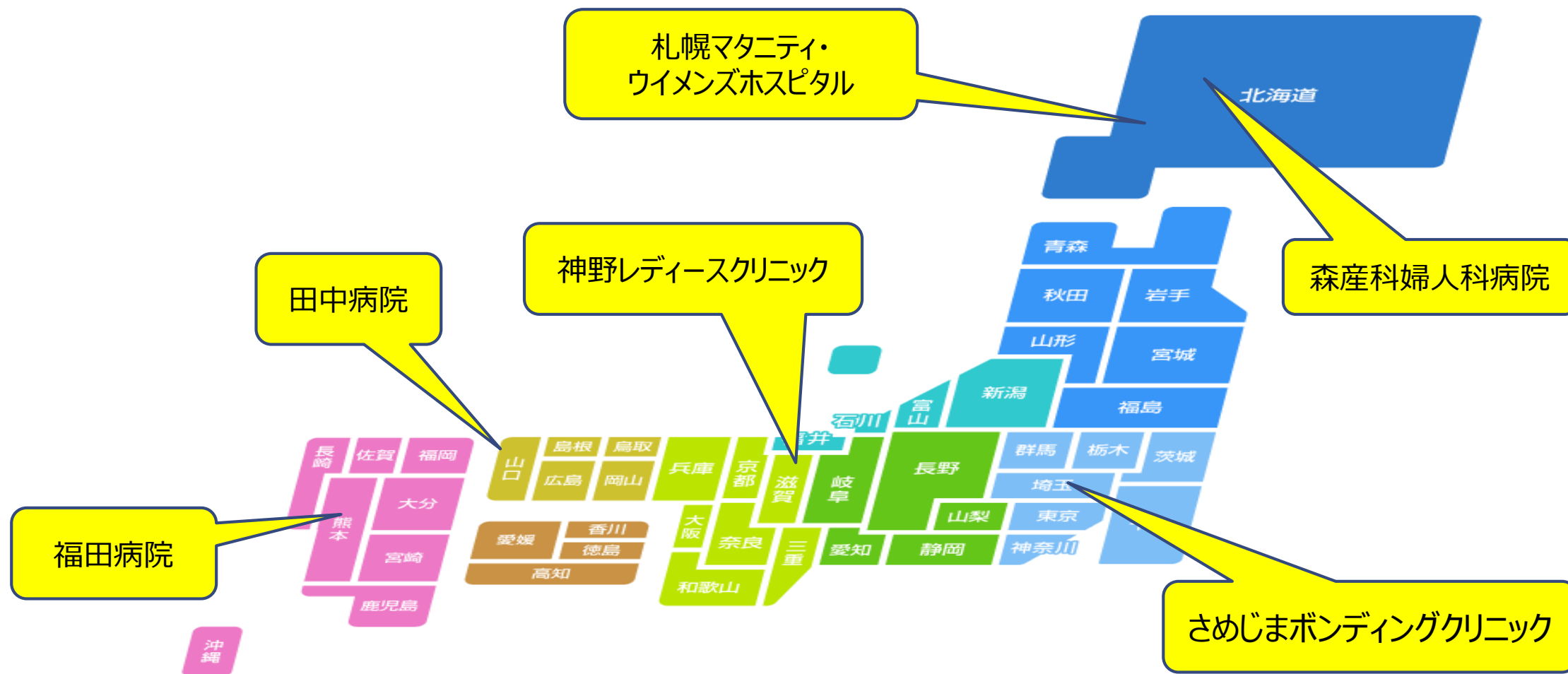
全国の産婦人科の医療施設が連携して
「特別養子縁組」のあっせんまでを行う
唯一の団体です。

平成25年9月8日発足

協議会会員施設（20施設）

区分		医療機関名
A-1	・ 特別養子縁組取扱い医療施設として活動 ・ 法律に基づき、自治体から養子縁組あっせん許可を受けた施設	さめじまボンディングクリニック（埼玉県） 神野レディースクリニック（滋賀県） 田中病院（山口県） 福田病院（熊本県） 森産科婦人科病院（北海道） 札幌マタニティ・ウィメンズホスピタル（北海道）
A-2	・ 当面届出はしないが、養子縁組希望者に対して相談に応じる	愛育病院（鹿児島県） あまがせ産婦人科（福岡県） 荒木クリニック（石川県） 産院いしがせの森（愛知県） 窪谷産婦人科（千葉県） 慶愛病院（北海道） 恵愛病院（埼玉県） 新横浜母と子の病院（神奈川県） 産婦人科 筑紫クリニック（福岡県） なないろレディースクリニック（茨城県） 母と子の上田病院（兵庫県） ひたちなか母と子の病院（茨城県） 古川産婦人科（福島県） 宮原レディースクリニック（大分県） ヤナセクリニック（三重県） 東府中病院（東京都）

事業許可施設(特別養子縁組あっせん許可)



基本方針

- 第一に考慮すべきは子の幸せであり、次に実母の心のケアを大切にする。
- 虐待防止の視点から必要に感じて、養子縁組を行うもので、養子縁組が優先するのではない。
- 実母、養親、いずれからも謝礼や寄付金などを取らない。医療の一環として扱う。
- 原則として国内において縁組を行う、やむを得ず国際養子を行う場合は子の出身国を配慮する。
- 医療と福祉をつなぐ役割を果たす。
- 地元の児童相談所との連携を密にする。
- 日本医師会、日本産婦人科医会、厚生労働省の意向を重視する。

産婦人科医療施設が行う実母支援

妊娠…？
どうしよう…



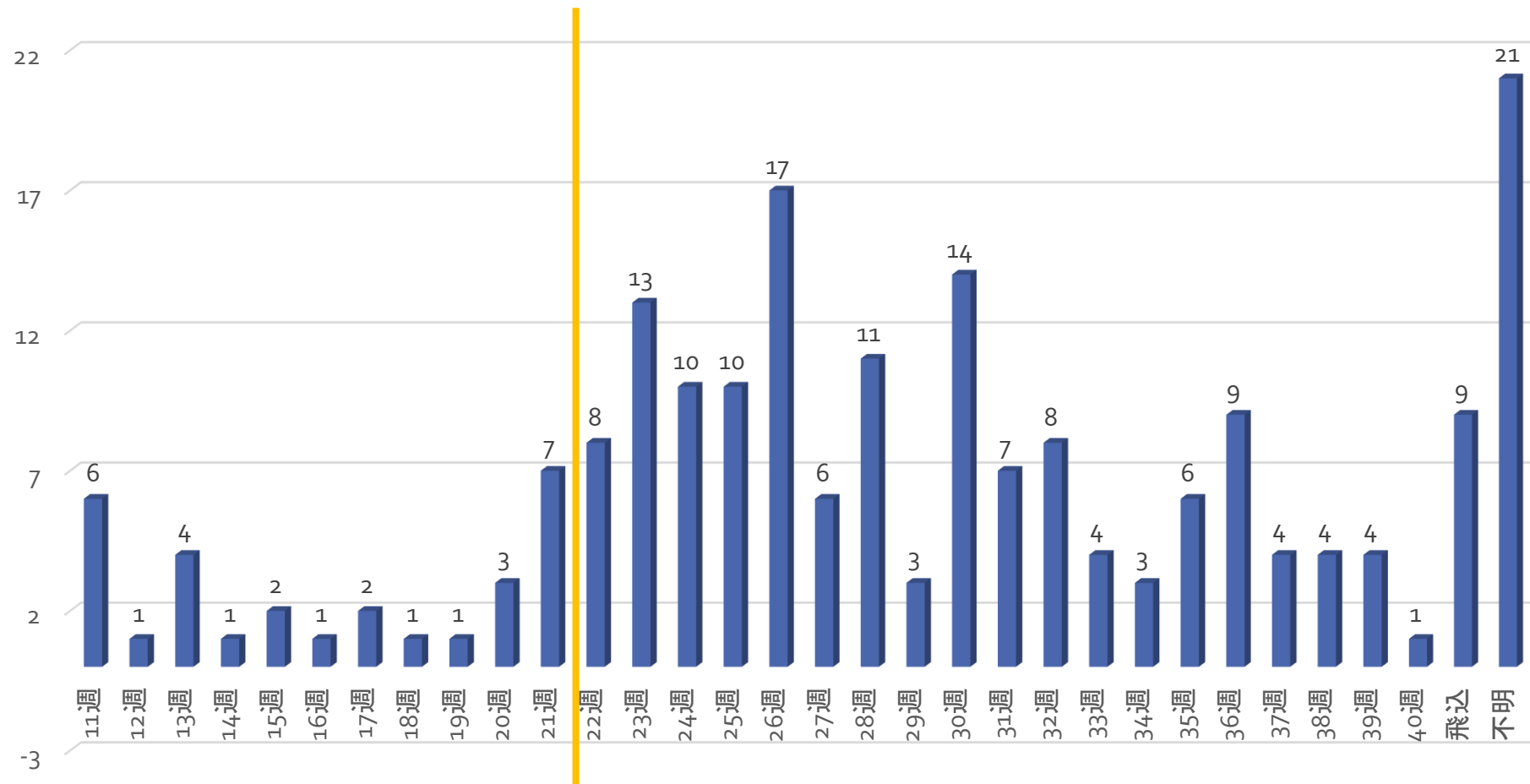
.....
思いがけない妊娠に
.....
悩んでいるあなたへ
.....

1. 妊娠期から深い関わりをもつことで、実母の苦悩、出産、産後、その後の喪失・悲嘆まで継続的に支援する。
2. 時には未成年者を長期に預かり、実母の心の変化に応じた対応をする（2～3カ月預かることもあり）
3. 特別養子縁組にこだわらず、気持ちが変わった時にも適切に対応する。
4. 養親の教育入院により、育児教育が行え、養親の不安や戸惑いにも適切に対応する。
5. 専門職ら、第3者委員の助言のもと、特別養子縁組事業の透明性と公平性を評価しながら運営をする。

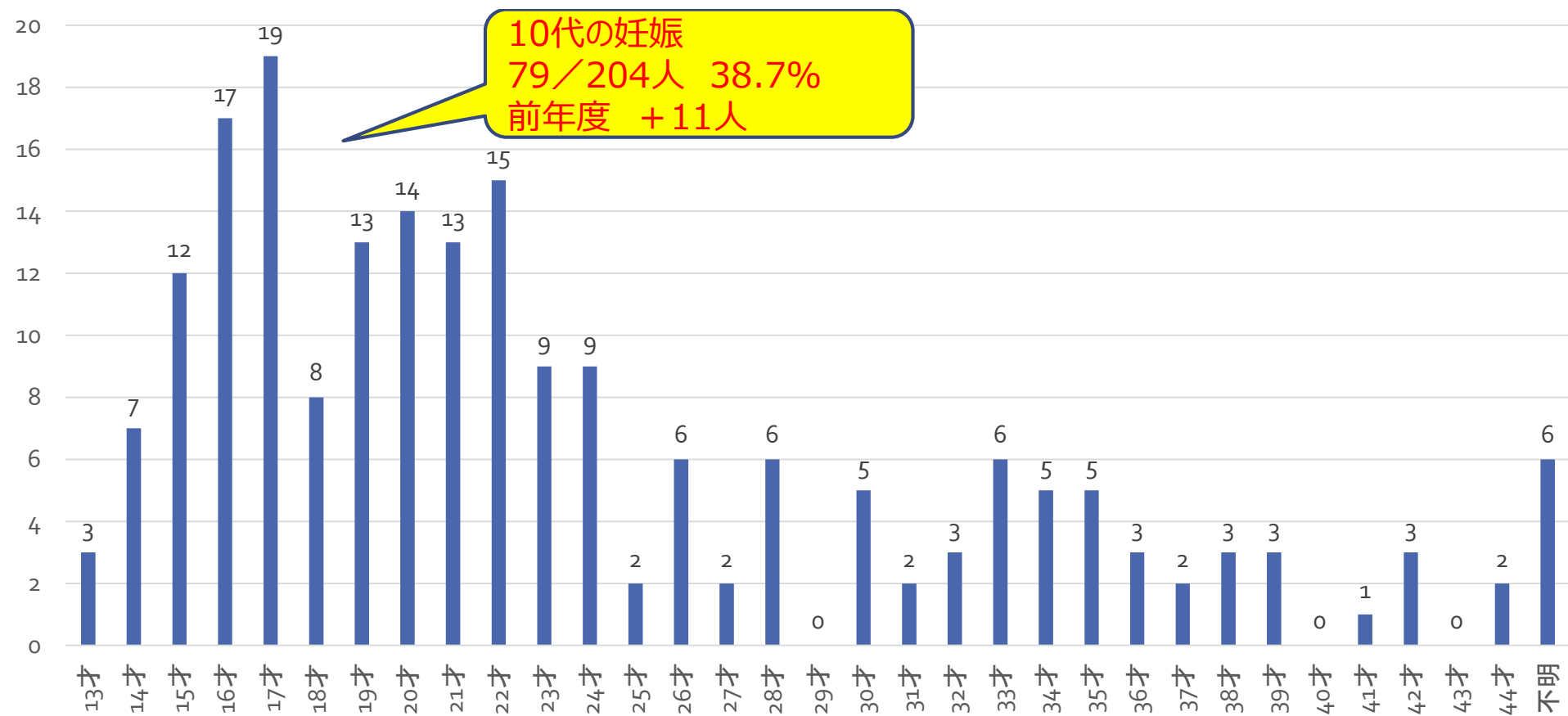
特徴は実母支援

1. 実母が究極の選択を自らできるように支援する。
2. 養子に託すべきか、自分で育てるべきか、この問いについて自ら答えを出すまで誘導せず、根気よく対応する。
3. 悔いを残さない決断をするために、妊娠出産の現実から目をそらさず、実母が自分に宿った命を受け入れらるよう支援する。
4. 実母にとって少しでも、安心できる気持ち、癒し、内省、成長発達の間になるような相互的な関わり合いを目指す。
5. 実母を支える家族を支援し、家族の再構築を図る。
6. 命を守り抜いたこと、選択した答えを賞賛し、その後の喪失や悲嘆のケアを行いながら、その後の人生をも長期的に見守る。

初診時（相談時）の週数



相談者の年齢



中高生無料妊娠相談 R2年12月～R3年11月

さめしまボンディングクリニックにおける対応件数

- ・計 20件
- ・緊急避妊 5件
- ・中絶 3件
- ・出産 9件（他院での分娩を含む）家庭養育 7件 / 特別養子縁組 2件

※自宅分娩して救急搬送あり → 一歩間違えれば虐待死

飛び込み出産2件

- ★ 2月中絶を経験した18歳が飛び込み出産
- ★ その後の長期的な支援が続くケースもあり

実母の思い…（妊娠葛藤）

育てたい…

育てられない…

育てる自信がない

どうしたら良いかわからない



赤ちゃんを否定する気持ち

赤ちゃんを思う気持ち

家族への思い

混在する思い…

実母への支援

- 入院によるお預かり
- 部署を超えたスタッフとの関わり
- 安心できる環境
- 生活を整える
- 受け持ちスタッフとの関わり
- 出産にむけての心理教育
- 家族のサポート



実母が抱える問題

- 家族の中に暴力がある
- 発達の問題を抱えている
- トラウマの再演であることがある（再被害・DV・虐待など）
- 生活そのものを構築できていないことがある（日常生活がちぐはぐでバランスが悪い）
- 良好な対人関係を築きにくい
- 貧困（解決できないような経済的な問題）
- **中高生の学業の継続**
- 親子・家族の再生（家族の力が実母の回復に不可欠）

生活を立て直す

高校卒業・生きていく力

自分で育てる選択をし、養子を撤回したケースの比較

あんさん協発足前

相談件数66件のうち、9件が出産後に自ら養育を選択している。

$$9 / 66 = 13.6\%$$

あんさん協発足後

相談件数170件のうち、50件が出産後に自ら養育を選択している。

(平成25年9月～令和1年3月末)

$$50 / 170 = 29.4\%$$

約3割は産後に意思が変わる

何度も行われる面談

- 実母の抱える問題は前の世代から持ち越されたものが少なくない
- 実母の抱える問題は個人の努力ではどうにもならない程、大きな社会問題の表れ
- 実母自身や親子の関係性・家族の問題が露呈することが多い



- 実母本人、家族、場合によっては相手の男性やその家族と何度も話し合う
- 正解・不正解を見つけることなく熟慮することが重要
- 個々の思いを言葉に出すことで、答えが見えてくる
- 妊娠・出産が家族間の関係修復を促すこともある

喪失体験へのケアが重要

実母(家族を含めた)継続した支援

- 包括的性教育の重要性(個々に合わせて実施)
- つど、LINEやメール、電話、面談などの継続した支援
- 低用量ピルの内服を継続し外来受診をうながす
- 児の誕生日などイベント時の連絡

※家族の支援(自宅で喪失のケアができない場合)の対応

※必要に応じて精神科医との連携

- 何年も経過してから(結婚や出産を機に)

連絡をしてくるケースもある



実母さん達のその後…（委託後の交流はない）

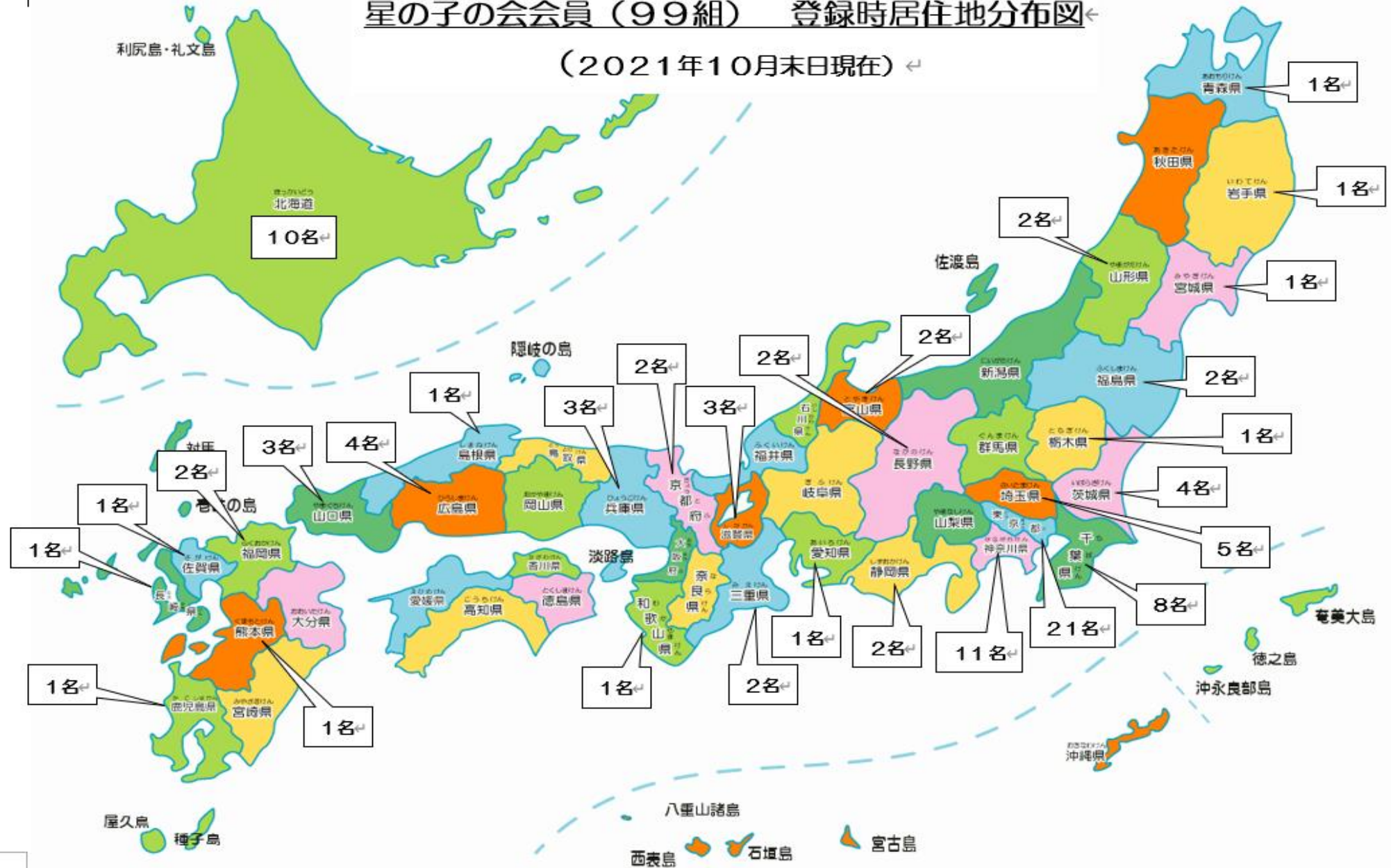
- 今回の妊娠、出産が彼女達にとって自分自身の人生を考える大きな転機となっている。
 - 大切にされた経験は彼女達の中に生きていく。
 - 家族との関係性を再構築することが、生きる力に繋がっていく。
 - 私たちとの関係が続いていくことで、帰る場所（居場所）ができる。
 - 中学・高校生活へ戻る
 - 大学へ復帰
 - 医療職（看護師・助産師）の道へ
 - 結婚の報告
 - 結婚→出産をされた方
 - 現在も困難を抱えておられる方
- それぞれの道を歩む

星の子の会（養親家族の会）



星の子の会会員（99組） 登録時居住地分布図←

（2021年10月末日現在）←



今後の課題・他団体と連携したいこと

【当事者のニーズにもっと応えたいこと/応えられなくて困っていること】

- 予期せぬ妊娠に悩まれている方への支援が届いていないと痛感します。
- 若年層（中高生）無料妊娠相談が彼女たちのツールに合っていないと分析しています。
- 家庭養育を選択し、育児をされている（特に若年層）への支援先が拡がりません。

【他の団体の方は地域住民の方に支援して欲しいこと】

- ★「予期せぬ妊娠」に医療が関わることで、継続した支援が行えることを知って欲しいです。
- ★妊娠相談の背景には性暴力被害やDV・SNS被害など社会の問題が背景にあります。
- ★皆さんとつながり、相談者が地域に戻った時のさまざまなアウトリーチ先を知りたいです。

発表の機会をいただき感謝いたします。
皆さまとのご縁が繋がりますように…

ご清聴ありがとうございました。

